

どうしてこの道路をつくったの？

多摩地域では、主要幹線道路が東西方向と南北方向の格子状に配置された計画となっています。この道路は**南北方向の主要幹線道路**の一つです。

多摩地域の交通の円滑化や、**都県間の連携強化**、**防災機能の向上**などを目的としています。

※裏面「都内の幹線道路ネットワーク」参照

Q1

環境施設帯の構成はどのように決めたの？

A1

歩道や植樹帯の配置は、沿道の方々を中心に検討会を開いて決定しました。環境施設帯は、車道の両側に10mずつ設けており、沿道環境の保全を図っています。

Q2

どうして3車線での開放なの？

A2

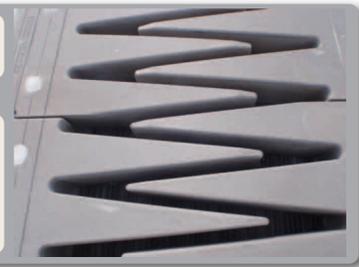
この道路は4車線で整備していますが、今回4車線で交通開放すると、国分寺3・4・6号線の混雑が予測されます。将来、五日市街道や青梅街道までの整備の進捗に応じて、4車線にしていく予定です。

Q3

橋の上にあるギザギザはなに？

A3

伸縮装置です。橋は温度によって伸び縮みします。その影響を吸収する装置です。

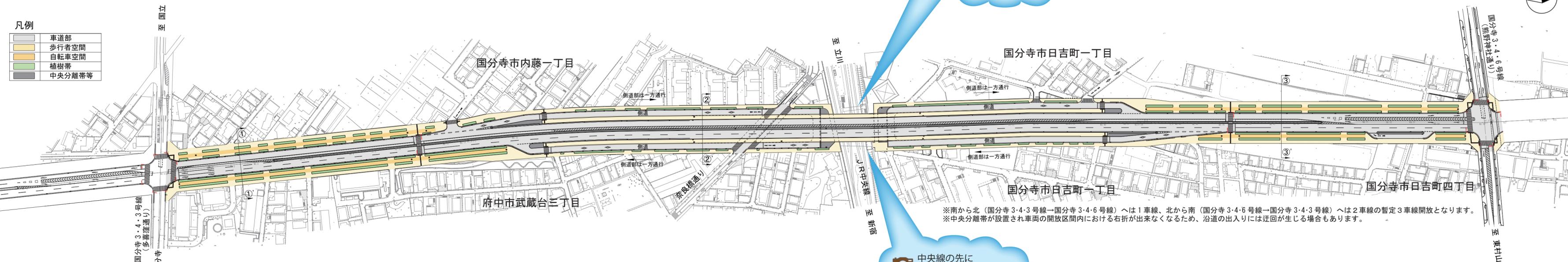


Q4

電柱はなくなるのですか？

A4

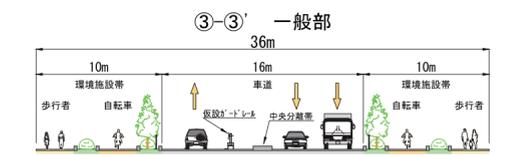
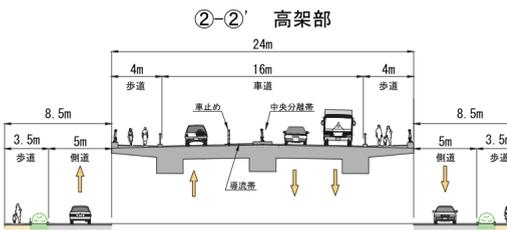
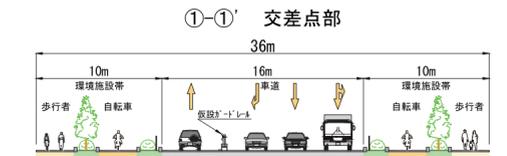
次年度、電線共同溝にケーブルを入線する工事などを行い、電力等の供給を切替えた後、電柱や電線が撤去されます。



丹沢山地の右側に富士山が見えます



中央線の先にスカイツリーが見えます



※植樹帯に植える樹種の選定や植樹については、今後、検討及び実施していきます。

Q5

むさし台緑道はどうなるの？

A5

環境施設帯と一体的に整備し、従前のむさし台緑道をイメージできるように整備を行います。



従前のむさし台緑道

Q6

橋についている半透明の壁はなに？

A6

投下防止柵です。橋の上から物が落ちるのを防止しています。プライバシーの観点から半透明にしていますが、中央線の上だけは、景色を楽しんでもらえるように一部透明にしています。

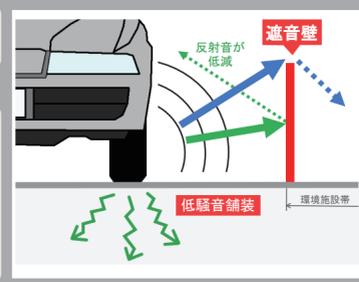


Q7

騒音対策はしているの？

A7

車道と環境施設帯との間に透明な吸音板を用いた遮音壁を設けることで、騒音の低減を図っています。また、車道舗装には騒音を低減する効果のある舗装を採用しています。



項目	事業のあらまし
都市計画道路名称	国分寺都市計画道路3・2・8号府中所沢線
区間及び延長	東京都府中市武蔵台三丁目～国分寺市日吉町四丁目
道路幅員	36m(一般部) 車道 16m+ 環境施設帯 10m×2 41m(高架部) 本線 24m+ 側道 8.5m×2